



繪本寫寶袋
再板

~~P
275
1~~

逍遙文庫
文庫6
1293
1



畫師浪速 橘有稅

寫寶袋 前編

浪華書舖 稱觥堂板

繪本寫寶袋叙



鄒國公曰。離婁之明。公輸

子之巧。不以規矩不能成

方員。畫工教人亦類是。不

以畫本不得成。形狀畫本



者規矩也。且夫物之形狀
夥矣。牙角者孰不知其為
獸。羽毛者孰不知厥為禽。
縱令雜異獸異禽於其取
寫辯之於其所彩別之者

其必盡乎。畫之規矩可謂
博矣。狀之辨之而不可盡
而盡之。不可測而測之者
妙也。神也。妙在心之規矩。
畫本者形之規矩。以於之

寫錦文序

規。船。入。心。之。規。船。所。謂。盡。
神。妙。者。也。公。輸。子。遂。折。規。
毀。船。而。騁。其。精。巧。亦。不。出。
此。理。之。外。爾。今。竊。以。此。理。
為。此。盡。本。方。者。不。圓。圓。者。

不。方。動。者。忙。靜。者。閑。三。遠。
之。要。七。定。之。相。于。体。萬。狀。
皆。寫。使。之。在。此。內。若。指。規。
船。而。探。妙。測。神。者。雖。一。生。
盡。心。吾。未。見。得。其。神。妙。也。

觀此本者庶幾思諸旨維
 享保五歲次庚子三月吉
 日橘氏有稅子採毫於浪
 花後素軒



繪中寫寶袋一之卷目錄

和歌三神之圖
 右備大臣之像續之始
 同園門戶垣之畫
 宮女夜裳之畫
 女之衣之畫
 源氏的之衣之畫
 同浮舟之畫
 公家束帶衣冠之畫
 源氏法着簾障子部之畫
 後羅錦續地紋之畫
 衣被物見之畫
 案式被物浴之畫
 同雛月敷之畫
 同紅茶突之畫

繪中寫寶袋一之卷目錄

たふに位持はる鷹

右史姓の持はる鷹人丸
孝照天皇の後胤あり
古今集序はわはる鷹
乃ひありありなること云ひ
ひまの石見國角の里横が
昭るに人丸と名付と案案
律。帽子海老。表若絶ま
此を並夜と名付と名付
身之袖一幅と名付傾た袖一
幅襟白し。新又紋は紋浮
線後浪派とく。奴袴は赤
又波又紋と名付八徳の者
浪派と名付若帯と名付也

右山邊赤人

山邊の姓也所の名なり
又紀伊守す新羅天皇の
比乃人聖武帝は神宮ふ
舞を山邊の越茶ま在
古今集の序に山邊赤人
といふ人ありなり云ふあや
しを妙ありなる人丸赤人
かかるといふとかく赤人
人丸がよりふと名付と云
くさんありなる云
後指衣かた又表白く
徳帯白地紋定りあ
奴袴白を紋単白又ハ
若花田袖結白



梅もよか
それと見
久くこれあまなる
雪乃さく
降るば

古今集序

五金
先ト

春巻野よ
とれつ
み

おれぞ



おれぞ
一巻は
なり

文官束帶之圖 大臣大納言 中納言

冠 金纓 袍 下襜 表袴 赤大口
 石帶 襪 笏 履 或ハ單大帷
 大帷ハ為袖衣紋ナリ
 冠 黑濃墨 割塗 或ハ薄墨 隈墨
 テ 菱ヲカク 纓 薄墨 濃墨
 如此カク 巾子ノ上ト未ニ濃墨ニテ
 如此 菱ヲ畫ク 袍 大畧 黒シ極
 丹青ハ 粉墨ニテ 刻塗地紋 光墨
 領カミノ 中襟 袖ノ中ニ 又有袷 何モ
 朱又白モアリ 裾ハ白シ
 面殿上眉アル時ハ 鬚ナシ 帷赤シ
 生眉ノトキハ 鬚ヲ 昼ク 帷白シ
 表袴 白紋 窠 霰 銀 泥ニテカク
 赤大口 表裏 朱金 括 襪 白 冬ニタナキ

武官

冠如文官 卷纓 常ノ纓ヲ内ニキタル
 テイ也 然下墨 具薄墨クニヨキス 筋
 ガキ 袍 關 腋 弓 矢ヲ不持トキ 纓ヲ垂
 帶 劔 櫛 韃 蓆 蒲 華
 毛 枝 形 分 銅 鐙 銅 金
 腕 貫 緒 又 大 ハシキ
 垂之圖
 平 緒 ノ 結 目 ニ 掛 ル 唐 ノ 紳 三 齊 シ
 紳 之 圖
 是 唐 ノ 禮 服 ノ 飾 ニ 衣 裳 ノ 權 也 聖 像
 及 王 侯 束 帶 之 時 著 シ 終 テ 後 ニ 佩 之
 曲 領 ト 紳 ト 一 双 ノ 物 也



夜冠之圖 冠 袍 奴袴

東帯の外一四よこれと書
源氏修務地侍の袴を
東帯まればなり夜冠かぶり
小座夜烏帽子にわすしの
帯より白秋仙よ米帯
夜冠あり
東帯の帯八威儀正しく書
夜冠への侍やうふ書と書
西奴袴よかきやうふと云
抱又又又帯を又又あり
奴袴紫袴 袴白
紋八有またとれ浮線後
りもも銀泥まて書あり

立烏帽子直衣

源氏法おほくはてと書
あやまりのありふやうの
幸とわたり
春の法ハ 夜衣白
浮線後 銀泥まてく
夏秋の法ハ 夜衣青
紋三重様 地又あいらを
紋いあんせう又いあいらを
もく
奴袴あいらをあんどく
紋いあいらをあんどく
銀泥まてくあり
夜冠 燕衣 袴衣
いあいらをあり



エジエジグタ
ロクセウシワウク
ゴシ

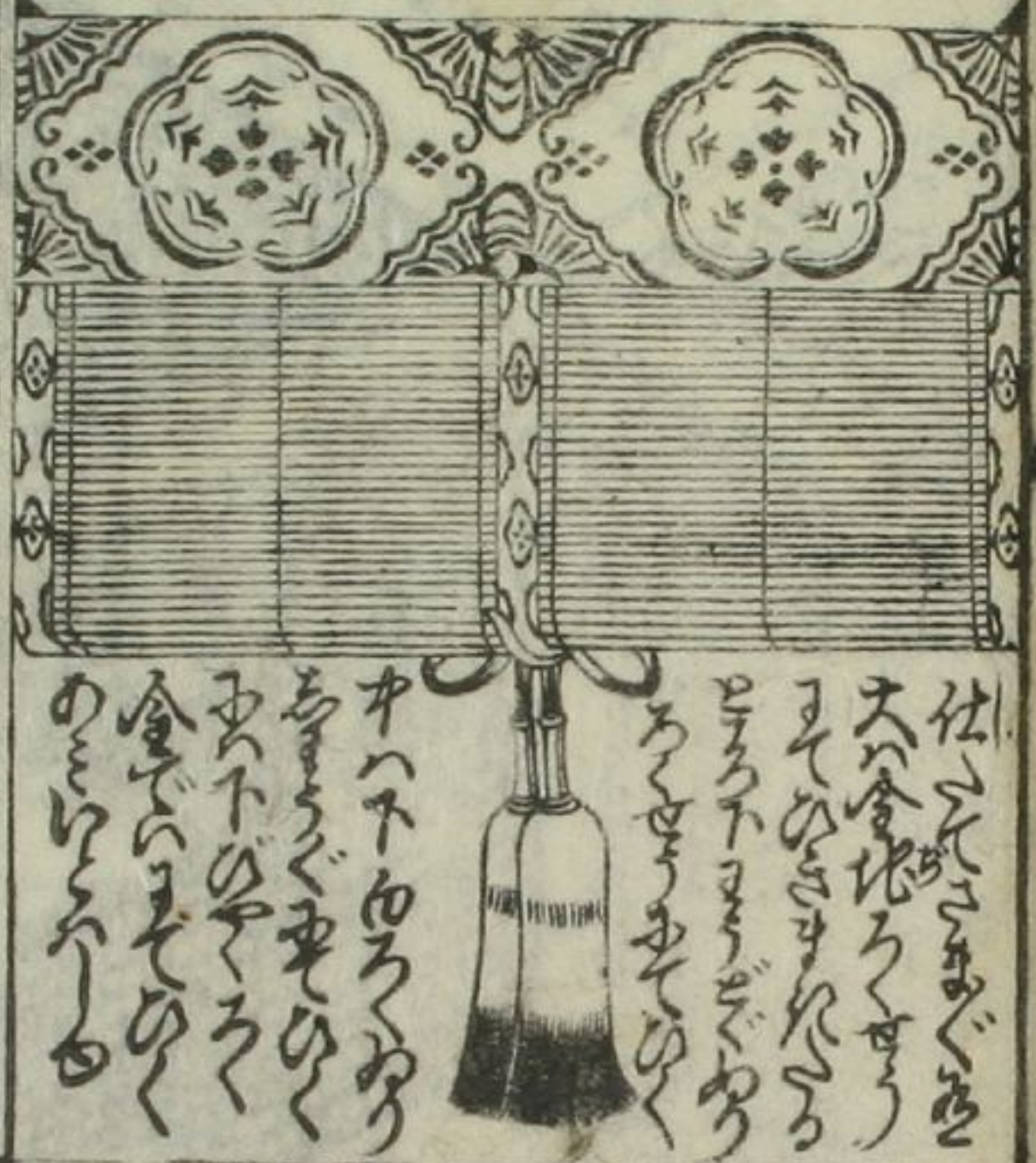


右徳公唐避之足跡不常



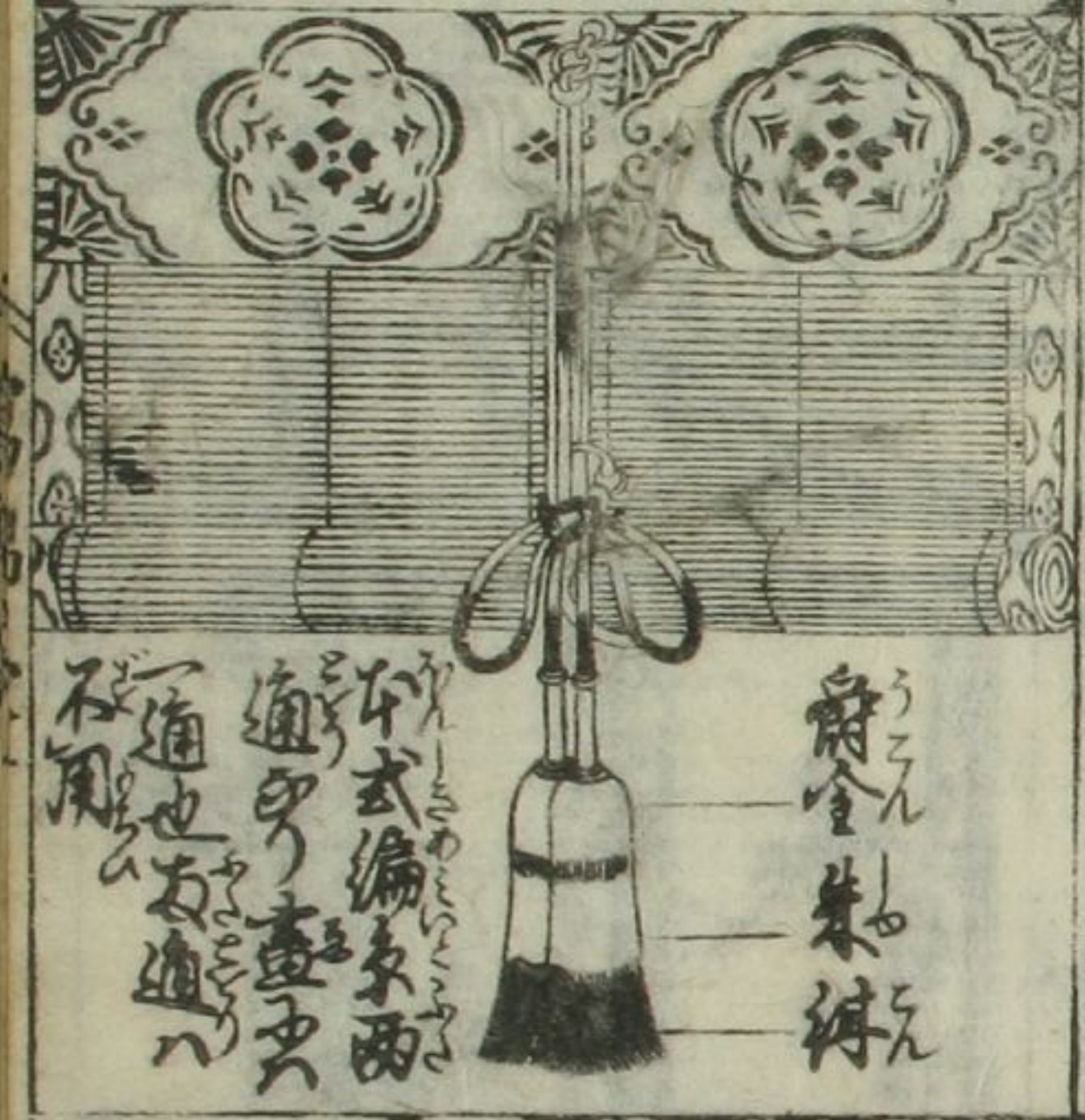
かぶるふよ公の流るるを
あれよよむ唐帝感して害す
このころは云々唐流あり
右徳公の後唐へ去るの時
武帝のそれよあす
又日本中へ請ひ遣はし公
唐へ入るいぬの後の
まがまの
ん小教
ぬいぬ
たすふ平に
おろあやふまは
とゆのかぬいぬい
とあくよまそれらう
想てけ公の唐の情状とて徳切多し人也

卷簾外



仕立てるまぐさ
大の金地うきう
またひさすれら
とろ下まうぞわ
あきまうまひ
中へ下ゆらわ
あまうまひ
ま下のやう
金のいまひ
のいんも

同内



爵全糸
印式編糸
通甲の壺
通也右通
不用

簾文窠登本丸



平鑑之圖内
金糸
簾の文窠登本丸
簾の文窠登本丸の
小壺の壺上より壺
竹の壺の壺上より壺
竹の壺の壺上より壺
竹の壺の壺上より壺



簾の文
平鑑之圖内
簾の文
簾の文

藤八ふじのやち

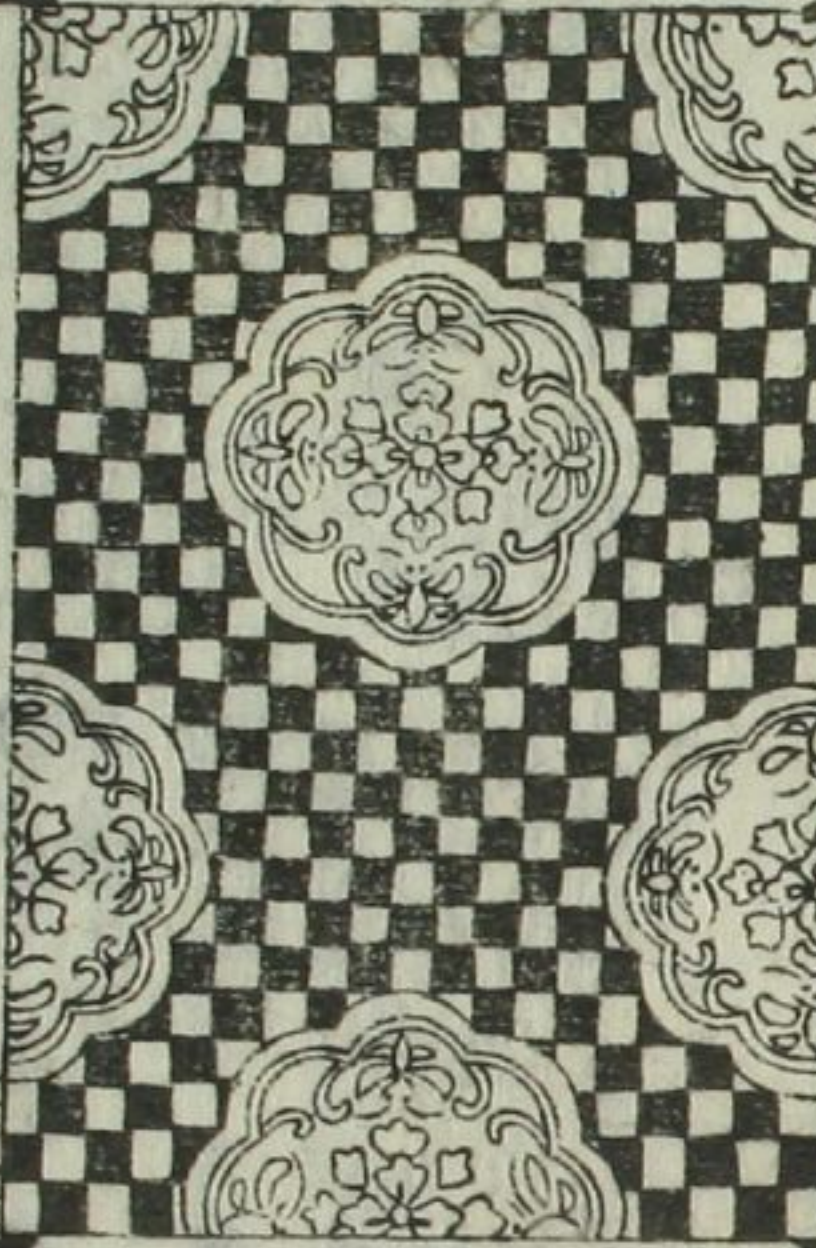
霰あられ 窠くま

禪ぜん 鳥とり

梅うめ 竹たけ 松しょう

膽たん 龍りゅう

涌ゆめ 立たて 雲うみ



菱あじ 綾あや

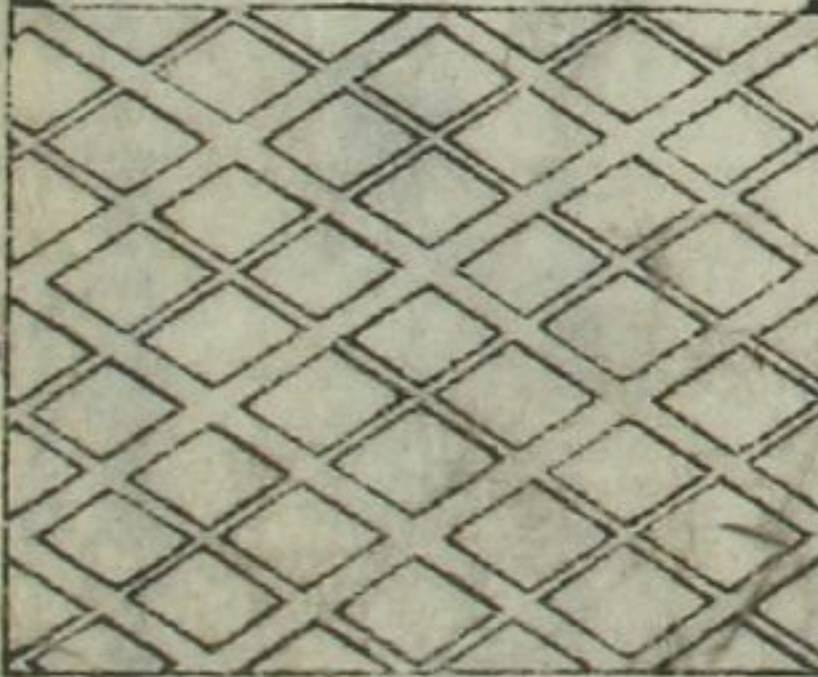
禪ぜん 重おも 三さん

畧りやく 禪ぜん 鳥とり

唐から 若わ 松しょう 早はや 蕨わづら

涌ゆめ 立たて 葉は

草くさ 唐から 密みつ



草くさ 用もち

草くさ 用もち

屏風びょうぶの意いに
紋もんの意いに
唐からの意いに
松しょうの意いに
竹たけの意いに
梅うめの意いに

草くさ 用もち

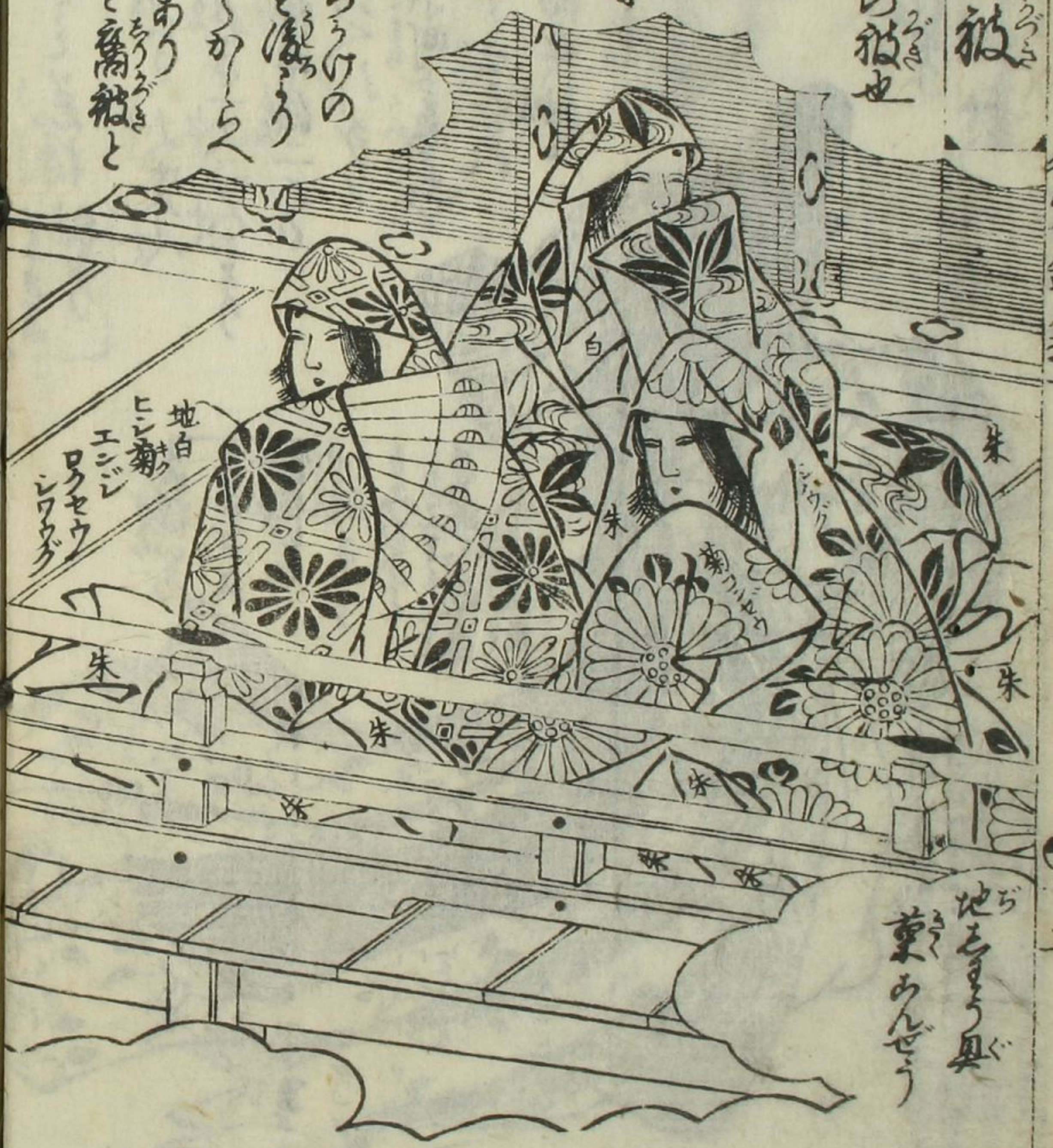
草くさ 用もち



にほんの三宮

ニホン
二品
親王

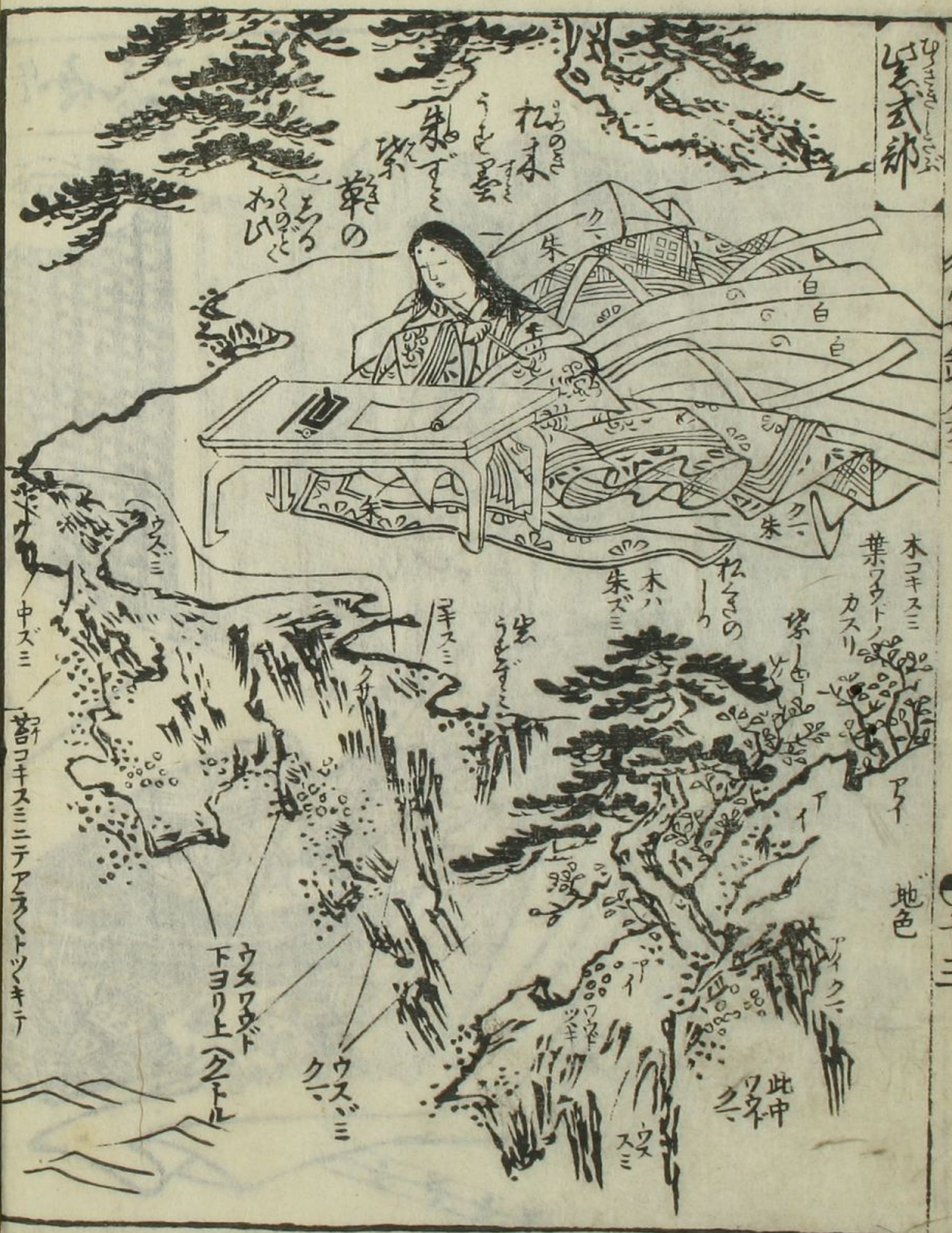
夜被
宮女の被也
鞍馬
花見
舞樂
等
物見
之時
又うらうらの
ともし海
あれと高被と



地白
ヒシ
エシ
ワセウ
シワセウ

地
葉
葉
葉

信武部



木コキスミ
葉カスリ
地色

此中

ウスミ

ウスミ
下ヨリ上クトル

カニヨリアイラウ
又草ノ汁ニテツク
ミレモヘクミトル
中白キハワラドノ
カニハアキ中ハウス
ズミレモハワラド
ニテツク

信武部

あふありりし
八月十五夜
月湖也
あつは光源氏の
物後
まきひら乃
まき物
くさくさなり



水形
薄墨
藍青
薄影
月影
濃墨

中薄墨曲取

信武部

御月夜

お月よの
明の
なほ
さし
たの
乃の
乃の
ひそ
あひ
うら
たま
あり



ついで

霧

まら

少

あ

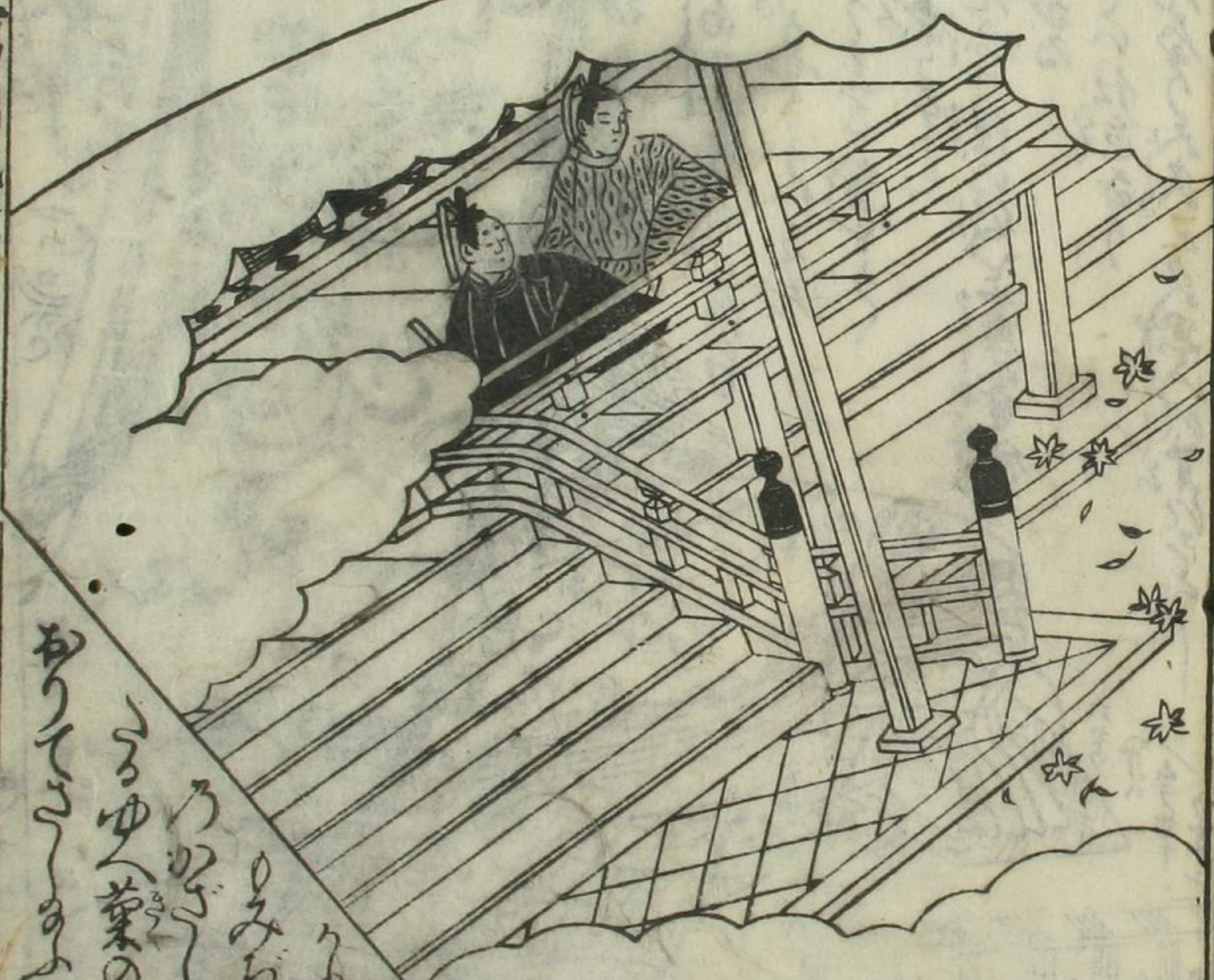
風

あ

お月よの
あまの
やがて
あはれ
あり



袖^{そで}は 心^{こころ}を 手^てに 寄^より



あつてさ〜あよとあり
 のみちありなす
 のみちありなす
 のみちありなす
 のみちありなす

あつてさ〜あよとあり
 のみちありなす
 のみちありなす
 のみちありなす
 のみちありなす

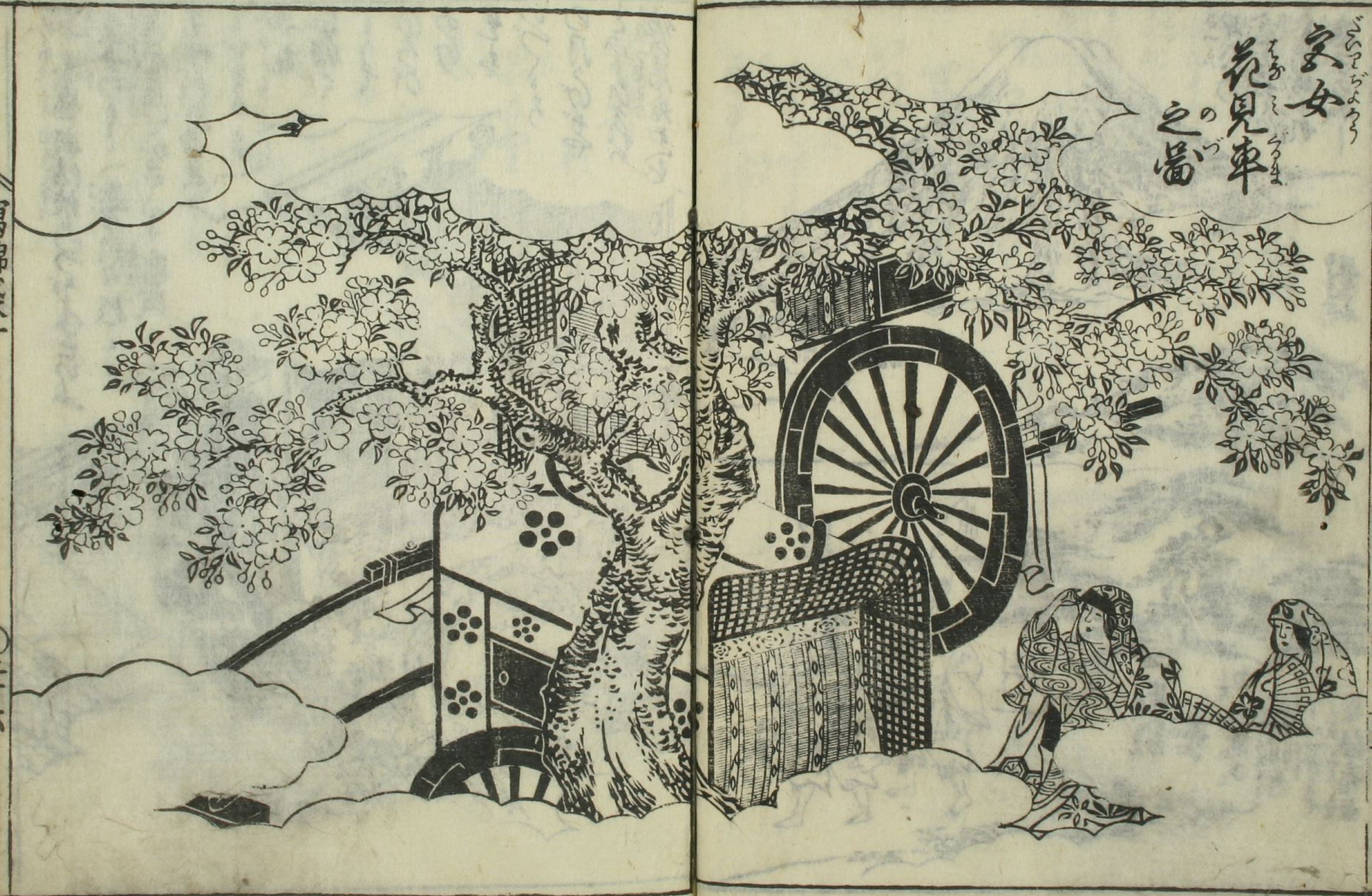
物^{もの}は 心^{こころ}を 手^てに 寄^より

お茶^{ちや}の 賀^が



あつてさ〜あよとあり
 のみちありなす
 のみちありなす
 のみちありなす
 のみちありなす

あつてさ〜あよとあり
 のみちありなす
 のみちありなす
 のみちありなす
 のみちありなす



花見車
の
之
女
の
見
車
之
畠

花見車

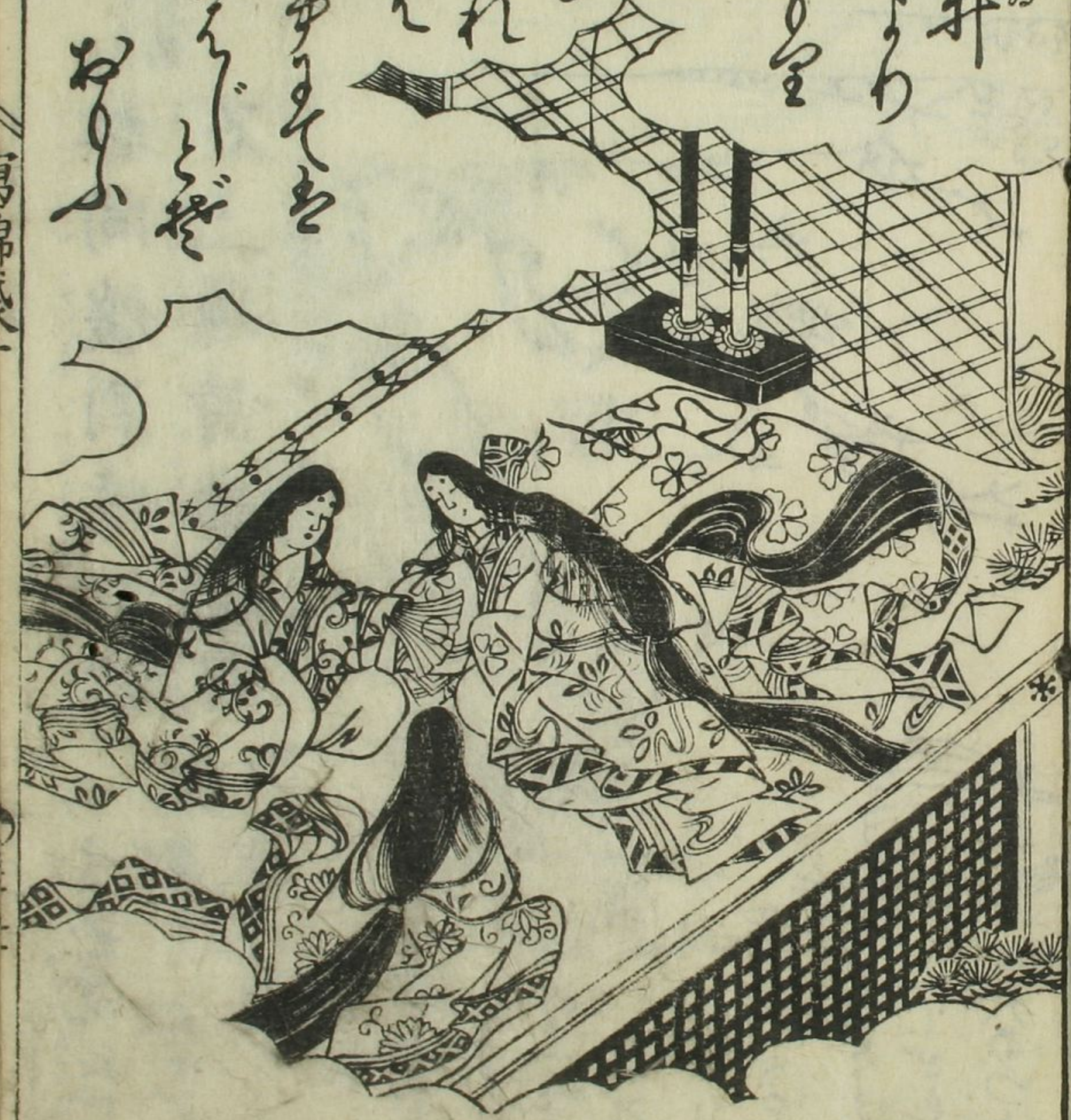
花見車

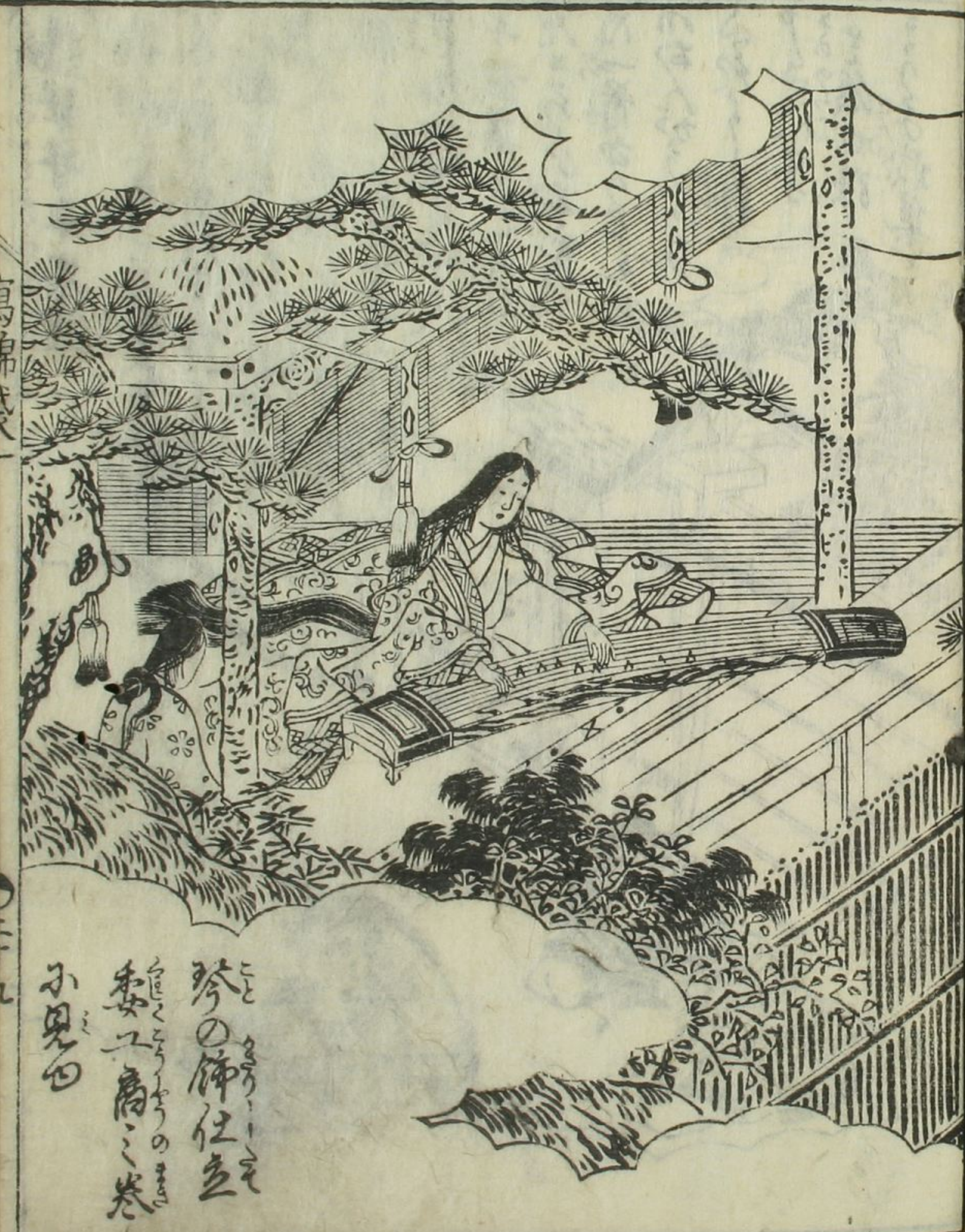
十九

平忠盛共侍依乃つがひのり
 女女のいへへ通れぬ程
 西の月とかがるる夜
 王守れらるる
 一とまらさ
 女名
 おほく
 りりえ
 ひらひ
 あげ
 是を
 つづくより
 の月ひさや
 とつひひさや
 依の局おむを



雲井
 思ひを
 来る
 月あれ
 籠
 いんげん
 おしふ





今の御任立
 委工為之卷
 不見也



彈正少納言
 中納言

命の初定少て候儀
 ありし

馬
 黄
 土

陸奥守平忠度

新永二年七月廿六日平家
 人々都に落ちたまふたより忠度
 足利に成られしはなほ
 引之 源の三任俊成の
 家より 具足なる
 巻物一軸名か
 千載集 二巻の
 たまらひは其物の
 内一冊ありと
 中村んかうあり
 されしは 終る
 中これら
 そのうち
 五巻世評
 まうり子載集



撰ぜりしは 時の
 うの巻物乃内ふ
 たまらひは 終る
 いふらとあり
 くれども
 物動の
 人あき
 名
 かくして
 ごとく首を
 へきし
 ともが
 あらずと
 われり



故郷の花と
 心と
 さがばや志の
 都はあれ
 あ
 ひ
 山
 う

鶯宿梅

新

後鳥羽院
淡小寮
一様梅
樹紅白

有て
毎春
未定
不得
相傳
者
和歌
勅
鶯
梅
先より鶯宿梅と云



一
院
紀
乃
と云

鶯宿梅

三十一



とる

小町色

雲の
あり

昔

か

見

うら

ゆ

い

小町小町百景
の境とありて

雲も色小

ありる時

希より此

あられもの

御意とつる

ふれおそ

むきとぞ

とひり

とま

とそ

鸚鵡小町一字返袂

陽成院御製

雲のうら

ありる首

かろく縁ど

ん玉ぶれの

うらや



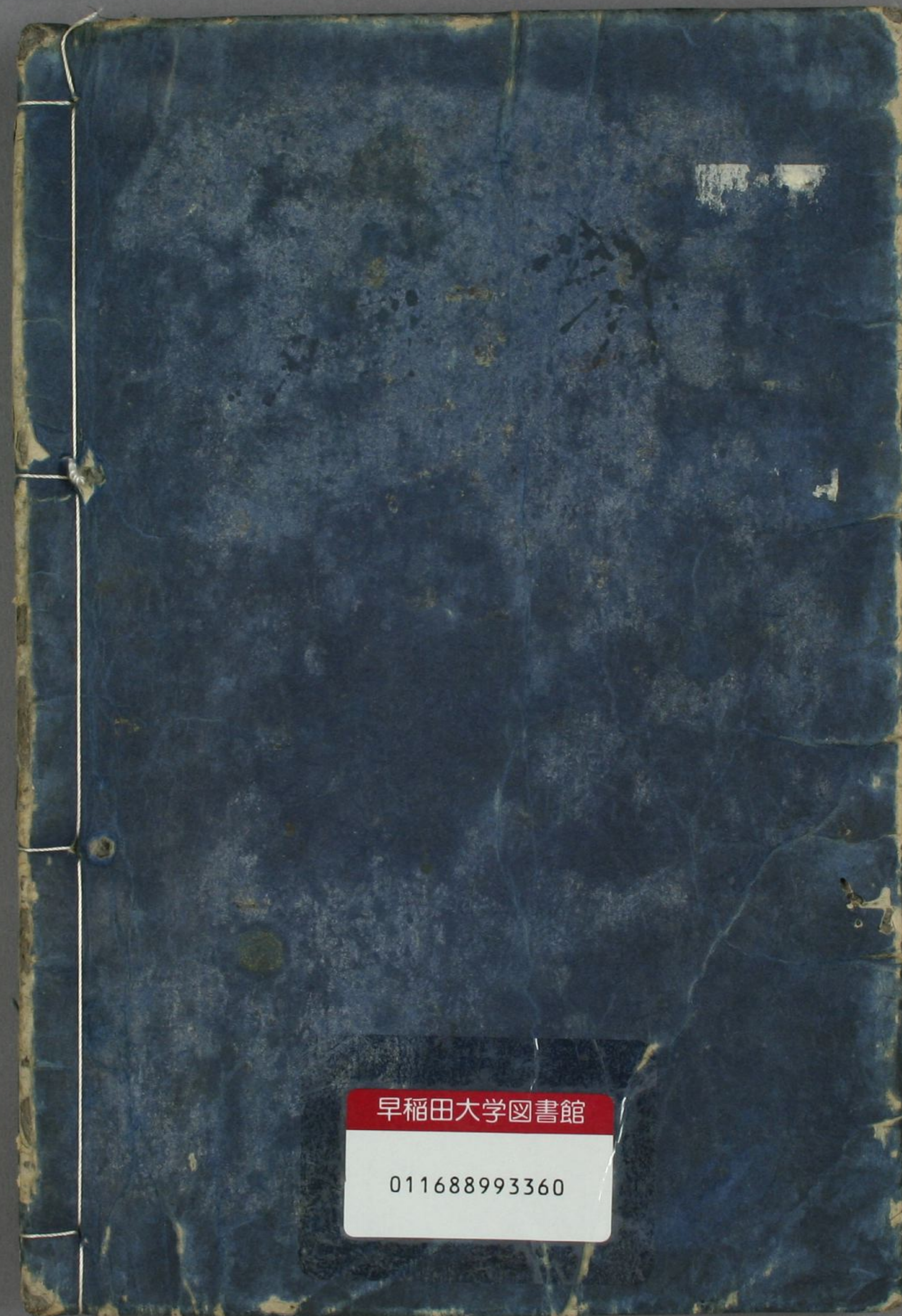
新大細言行家





鳥羽院の御宇
三浦外
と源外
あんな始と
あれと射。

大造物之圖



早稲田大学図書館

011688993360